

# 甲斐市 議会だより

No.46

平成28年1月25日発行



やいばたいぬ



甲斐市マスコットキャラクター

『響き渡れ新春の鼓動』

(平成28年1月1日撮影)

撮影場所：ドラゴンパーク

## 今号の見どころ

- 第4回定例会 2ページ
- ここが聞きたい一般質問 8ページ
- 特集 市民と議会の対話集会 14ページ
- 各種団体との意見交換会 17ページ
- 市内指定文化財視察研修 20ページ
- 平成28年度当初予算への要望 22ページ
- 市民の声・議会傍聴記 24ページ



KAI City

# 委員会レポート

厚生環境常任委員会 12月15日開催

## 低所得者保険料軽減繰出金 768万円増

**Q.** 低所得者の基準額は。

**A.** 介護保険料の第一段階の方で、生活保護受給者、高齢福祉年金受給者で世帯全員が非課税の方また、前年の合計所得金額と課税年金の収入額の合計が80万円以下の方。基準額の0.5が0.45となる国、県、市負担分としての介護サービス特別会計への繰出金である。

## 広域事務組合負担金 583万円増

**Q.** 市の負担割合の根拠は。

**A.** 峡北広域行政事務組合のごみ処理施設整備費の市負担分となり、3市(甲斐市、韮崎市、北杜市)のうち、約31%が本市の負担金である。負担割合は、均等割10%、人口割(旧敷島、旧双葉の人口)90%である。

## 子育て世帯臨時特例給付金給付事業 333万円増

**Q.** 全体の内訳と未申請者の人数は。

**A.** 当初9,800人を見込み、実績は9,590人である。督促したが未申請の人数は80人である。

建設経済常任委員会 12月15日開催

## 塩崎駅整備事業(繰越明許、債務負担行為)

(2ページ参照)

**Q.** 設計は全てJRで行ったのか。

**A.** 特殊で専門的な工事であるためJRの設計である。官公庁の標準積算基準と0.5%の差異であるため、概ね的確と判断した。

**Q.** 交通整理員の増員は。

**A.** アンダーガードの工事により、通行止めとなるため、地元の要望により、南口、北口、山本踏切に交通整理員を増員した。

## 市道路線認定

**Q.** 市道の認定基準は。

**A.** 原則は、幅4メートル以上側溝付きで認定する。

**Q.** サテライト双葉から市道へ接続する計画はあるのか。

**A.** 今のところない。

今定例会における各常任委員会での質疑を抜粋してお伝えします。

総務教育常任委員会 12月16日開催

## 財政調整基金積立金 11億2,375万円増

**Q.** 基金積立金の総額は。

**A.** 平成27年度末において、30億5,447万円を見込んでいる。

**Q.** 30億円の使い道は。

**A.** 財政調整基金の性格上、通常の使い道とする。

## 地方創生事業 5,000万円増

**Q.** 増額補正の内容は。

**A.** 市が誘致する産婦人科医が必要とする医療機器の購入を行い、開業する産婦人科に対し無償貸与することにより、開業支援を行う。

**Q.** 産婦人科支援の経緯は。

**A.** 総合戦略の事業に、切れ目のない子育て支援として甲斐市版ネウボラ推進プロジェクト事業を上げている。その中の核として、今年の春頃から山梨大学付属病院の先生と協議して、組み立ててきた。

## ふるさと応援寄附金関係 825万円増

**Q.** ふるさと応援寄附金はいくら市に残るのか。

**A.** 寄附の4割弱が贈呈品となり、約6割が市に残る。

**Q.** 国では、贈呈品が過剰にならないように示しているが、指導等あるのか。

**A.** 総務省から通知を受け、市では、返礼品として、地元特産品をPRすることとしている。



ふるさと応援寄附金の特典の一部

## 法人税(歳入) 5,000万円増

**Q.** 新しい企業が入ったのか。

**A.** 平成26年11月以降に税率改正により12.3%から9.7%となり落ち込みを見込んだが、一部のIT企業関連が増額となるなど、全般的に業績が向上してきた。

# 12月補正予算 一般会計を12億3,755万円増額

## 一般会計補正予算

○ おもな歳入(財源)

前年度繰越金	8億7,576万円
国庫支出金	1億7,207万円
市税ほか	1億8,972万円

○ おもな歳出(使いみち) ※△は減額

財政調整基金積立金	今回の補正予算に伴う歳入歳出の差引額を基金へ積み立てる増額	11億2,375万円
認定こども園事業	子ども・子育て支援新制度に係る施設型給付費・地域型保育給付費の国定価格等に伴う不足額の増額	8,000万円
地方創生事業	甲斐市版ネウボラ推進プロジェクト事業 <sup>*1</sup> 経費の増額	5,000万円
常備消防負担金	27年度常備消防負担金等の確定に伴う増減額及び峡北消防本部庁舎建設に伴う事業負担金の増額	1,952万円
職員費及び嘱託・臨時職員費	4月の人事異動による現員現給、制度改正に伴う共済費及び時間外手当等の人事費関係による増減額	△7,093万円
その他	企画管理費(ふるさと応援寄附金の贈呈品など)、広域事務組合負担金(峡北広域の新ごみ処理施設の建設地変更に伴う経費)などの増額	3,521万円

\*1 結婚、妊娠、出産、育児など切れ目のない子育て支援を推進するプロジェクト。今回の事業経費は、市内に産婦人科医を誘致し、必要な医療施設機器を購入し、開業医に貸与する支援事業。

繰越明許費(翌年度に繰越して使用することができる)

事業名	金額
塩崎駅周辺整備事業	4,852万円

債務負担行為補正(単年度で終了せず、後年度においても負担するもの)

事項	期間	補正前限度額	補正後限度額
塩崎駅構内塩崎架道橋改築事業	平成25年度から平成29年度	15億1,935万円	16億9,637万円

(追加)

事項	期間	限度額
神明温泉志麻の湯及び志麻の里ことぶきセンターの指定管理について協定を締結すること	平成28年度から平成30年度	4,890万円
百楽泉及び甲斐市共同福祉施設の指定管理について協定を締結すること	平成28年度から平成30年度	8,160万円
釜無川レクリエーションセンターの指定管理について協定を締結すること	平成28年度から平成30年度	7,740万円
甲斐市双葉ふれあい文化館の指定管理について協定を締結すること	平成28年度から平成32年度	1億8,824万円

特別会計補正予算

特別会計名	補正額
国民健康保険	567万円
後期高齢者医療	589万円
介護保険	215万円
介護サービス	△17万円
簡易水道事業	△15万円
地域し尿処理施設	18万円
下水道事業	△532万円
水道事業	△956万円

# 平成27年 第4回定例会

平成27年第4回定例会は、12月10日(木)から12月18日(金)まで、9日間の会期で開かれ、補正予算、条例の制定などの議案審議を行いました。  
この定例会の様子は、議会ホームページ(インターネット)で録画中継を配信していますので、ぜひご視聴ください。

### 条例等の審査

今定例会で審査した条例等の一部を紹介します。  
なお、その他の条例の議決結果は、7ページでご確認ください。

#### 行政手続における個人番号の利用に関する条例の制定 可決

番号法の規定に基づき、個人番号を利用できる事務の種類と連携できる情報の種類を特定及び特定された事務において個人番号を利用する際に適切な取扱いを確保するものである。

Q.個人番号は何に利用するのか。  
A. 社会保障事務、地方税法の事務、防災対策の3つの事務で、国の法律に基づく98事務と、市の条例に規定する独自利用事務の2事務<sup>※1</sup> および庁内連携として10事務である。

※1：ひとり親家庭医療費助成金支給事務、子ども医療費助成金支給事務

Q.個人番号の取り扱い、セキュリティ対策は。  
A. 特定の職員のみが取り扱い、紙ベースの個人番号は、かぎ付ロッカーで保存する。

#### 一般職非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例の制定 可決

臨時・非常勤職員の任用等に関して、制度の趣旨、勤務の内容に応じた任用・勤務条件を確保するものである。主な内容は、①職務の内容や勤務形態等に応じて適切に任用する。②募集や任用にあたっては、勤務条件を明示する。③報酬等は、勤務内容と責任に応じて適切に水準を決定する。④労働基準法などに基づき、各種休暇を適切に整備するなどである。

Q.一般職非常勤職員と臨時的任用職員の違いは。  
A. 一般職非常勤職員は、1年間を通して職員と同じように勤務している方である。臨時的任用職員は、税務の入力作業などの短期的な方である。

Q.一般職非常勤職員の任期は1年となっているが、任期を延ばす場合はどうしているのか。また最長何年まで更新できるのか。  
A. 試験、面接により選考している。最長の更新年数は決めていない。

Q.現在の一般職非常勤職員等の人数は。  
A. 23の職種で322人となる。

#### 行政組織条例の一部改正 可決

平成28年4月からの組織機構は、新たな行政課題に対応し、機動的で効率的な組織体制とすることを目的に見直しを行う。

主な内容は、福祉健康部を福祉部と子育て健康部に再編し、子ども・子育て支援新制度への移行に向けた各種施策の充実を目指す。次に、現在、生活環境部で行っている「防犯及び交通安全に関すること」を総務部に移管して、総合的に安心・安全なまちづくりを進める。

また、規則において、各課の所管事務の見直しを

行い、敷島および双葉支所については、市民課と地域課を統合し、市民地域課とし、迅速な指揮命令系統の一元化を図り、機動性に富んだ組織を目指す。

Q.行政組織の改正の目的、基本的な考えは。  
A. 様々な行政課題に対応するため、限られた人材、経営資源を有効活用し、機動的な組織を目指し、効率的な行政運営を図る。

Q.支所の地域課が統合されることにより、業務が後退するのではないか。  
A. 課長職の2人が1人になるが、4系の体制は変わらない。出張所関係の縮小は考えていない。

### 議会運営委員会 提出議案

#### 議会委員会条例の一部改正 可決

甲斐市行政機構の見直しに伴い、改正を行うもの。

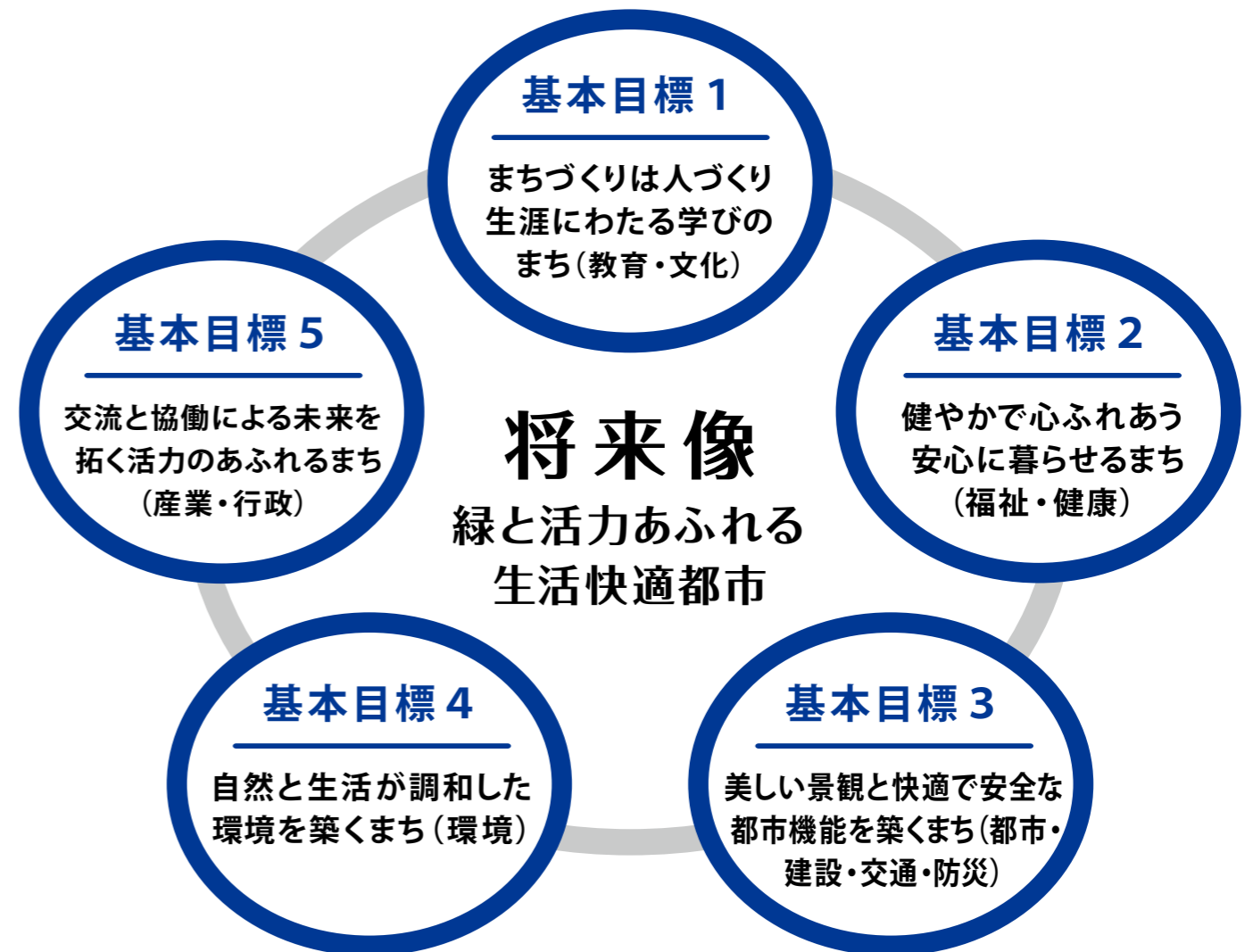
提出者：議会運営委員長 山本今朝雄

内容：第2条の厚生環境常任委員会の所管の名称を改正する。  
福祉健康部を福祉部、子育て健康部とする。

## 第2次甲斐市総合計画基本構想 可決

第2次甲斐市総合計画基本構想は、甲斐市のまちづくり基本条例に基づき策定する、平成28年度から平成37年度までの10年間の市政推進の取り組みを示したまちづくりの方針です。市の特性や課題、これからの社会の潮流を踏まえ、目指すべき将来像を設定し、これを実現するための基本目標などを定めています。

本件は、総務教育常任委員会に付託、審査され、定例会最終日(12月18日)に起立多数により原案のとおり可決しました。



### 委員会での質疑

Q. 計画策定に当たり市民アンケートを行っているが、市民はどんな評価をしているのか。

A. 安全で快適に暮らせるまちづくりが充実していると評価が高く、産業関連や生活道路の整備、公共交通の利用については低かった。

Q. 健康と福祉について、住民の福祉増進を図るといふ自治体の本旨を入れるべきではないか。

A. これは構想であり、考え方であるので、具体的な内容は基本計画に入れる。

Q. 将来像の中に人口の目標を記述すべきでは。

A. 甲斐市人口ビジョンにおいて、46年後までの人口推計をしており、総合計画の製本時には、構想とは別に、人口ビジョンの数値等は基本計画で記述する。

Q. 市民アンケートや各種委員会などからの意見をどのように反映させたのか。

A. 意見などは、その都度反映状況を示してきた。基本目標が〇〇の創造など硬い表記であったが、柔らかい表記とした。



### 保坂市長の三選の意欲は

市長 ▶ 計画実現に向け引き続き市政運営に取り組んでいく

颯新クラブ 清水正二 議員



**清水** 新たな施策と描く甲斐市の将来ビジョンは。

**市長** 重点プロジェクトとしての「甲斐市バイオマス産業都市構想」実現、「(仮)甲斐市子育て世代包括支援センター」を組織し、子育て環境整備に取り組み市民とともに歩む「緑と活力あふれる生活快適都市」実現に向け取り組む。

**清水** 今後も重点施策における組織機構の見直しは行うか。

**市長** 効率的な行政サービスを提供を目指して、今後とも時々の状況により機動的に行うべきものと考えます。

**清水** 重要施策遂行において職員定数の可変は考えられるか。

**市長** 国、県からの権限移譲の拡大、新たな行政課題に業務量の増大を想定し、こうした情勢を踏まえ第3次職員適正化計画において適正な職員数を検討している。



**市長** ▶ 健康ポイント導入について、今後、具体的に検討する

**清水** 全国で健康ポイント制度を取り入れている自治体数は、

**福祉健康部長** 全国では、34都道府県で、117市町村が実施している。

**親子体験学習、自然を活かした人づくりの積極的推進を**

**市長** ▶ 多様な学習機会の提供を図る

**清水** 市外の都市の人と地域交流の施策は。

**市長** クラインガルテンや空き家バンクなどの関連情報を積極的に提供し、市への定住につながるよう地域交流の推進に努める。

### 旧敷島給食センター建物の活用は

市長 ▶ 耐震基準を満たさない建物のため現状の倉庫のまま使用する

創政甲斐クラブ 藤原正夫 議員



**藤原** 建物をリフォームして多目的な活用は。

**市長** 建物は、建築基準法の新耐震基準以前に建築されたものであり、現在は、市の書類、机やロッカーなどの事務用品、防災備品などを保管する倉庫として使用している。貸し出し等は安全面や改修の費用対効果から、現在の倉庫として利用する以外の活用方法は、現段階で考えられない。

**棚田を市の無形文化財にしては**

**教育長** ▶ 「名勝」などの観点から調査、研究していく

**藤原** 棚田を観光資源として市のイベントに加えては。

**市長** 「甲斐市ちいさな旅」のコースの一つとして検討していく。

**藤原** 棚田の文化遺産を守る市の協力は。

**市長** 棚田米のブランド化は、地元地域への働きかけや支援を行っていく。

**藤原** 棚田保存会の助成金の増額は。



**市長** 会の意向を確認しながら支援のあり方や方法について検討していく。

**藤原** 専門分野の観光事業課の設置は。

**市長** 観光事業を所管する商工観光課の事務に、「観光資源発掘に関すること」や「物産のブランド化推進に関すること」を加え、観光事業の振興を図る。

**藤原** 観光の名所・旧跡、イベント等を組み合わせたパンフレット作成による事業の拡大は。

**市長** 観光ガイドブック「ふらりと巡る甲斐観光行」などでPRしている。今後も市商工会等と連携し効果的な手法を検討していく。

# 一般質問

## ここが聞きたい!!

一般質問は、議員が議案とは関係なく、行政全般にわたり市長の考え方や市政の執行状況について説明を求めたり所見を問いただすものです。

なお、議会ホームページで、一般質問の録画中継を配信しています。

<b>清水正二 議員</b> ..... 9 ページ	<b>斉藤芳夫 議員</b> ..... 11 ページ
①保坂市政の今後と組織機構 ②健康増進に健康ポイント制度の導入を ③人づくりと定住促進について	①選挙権年齢18歳以上にとの法改正に伴う児童教育について
<b>藤原正夫 議員</b> ..... 9 ページ	<b>五味武彦 議員</b> ..... 12 ページ
①旧敷島給食センター建物の活用について ②甲斐市観光事業の拡大について	①生涯学習・文化活動等について ②表彰規定について
<b>滝川美幸 議員</b> ..... 10 ページ	<b>松井 豊 議員</b> ..... 12 ページ
①高齢者や子どもたちに安心安全なこれからのまちづくり	①TPP協定書作成作業から撤退し、甲斐市の農業振興施策の実施を ②木質バイオマス産業都市構想の問題点について ③子ども・子育て支援の充実を
<b>金丸幸司 議員</b> ..... 10 ページ	<b>金丸 寛 議員</b> ..... 13 ページ
①マイナンバー制度の取り組みについて ②認知症対策	①地域活性化としての特産品のブランド化について ②選挙権年齢の引き下げへの対応
<b>樋泉明広 議員</b> ..... 11 ページ	
①中小商工業の営業を守るために ②甲斐市の学校教育振興について	



第4回定例会の様子

### 高齢者や子どもの安心安全のための歩道整備の予定は

市長 ▶ 自治会からの要望や通学路の危険箇所を優先する



新政クラブ 滝川美幸 議員

**滝川** 竜王地区対話集会のあり、住民の方から甲斐中央線の歩道整備が遅れているとの意見が出された。また、上八幡地区の方からも高齢者が転倒したり危険であるとの声を伺っているが、歩道整備計画は。

**市長** 管理者である山梨県中北建設事務所に確認したところ、整備計画はないが、今後も現道の不具合箇所や維持補修等是对応していくことである。

**滝川** 竜王地区に多くみられる道路に面するブロック塀の強度等に不安を感じるが強度調査はしているのか。

**市長** 個人が所有しているブロック塀については、個人で管理していただき、道路管理上、倒壊の危険を予知した場合は、市として適切な指導を行っていく。

**滝川** 通学路などにあるブロック塀の安全性の確認はどのような方法で行っているのか。

**教育部長** 市内全域の通学路に面するブロック塀の



歩道が車道側に斜めになっている甲斐中央線

強度調査は実施していないが、年一回行っている通学路の調査で、危険度が高いと判断した場合は、通学路の変更などの安全確保を図っている。

**滝川** 市内にある十七ヶ所の都市公園の中で、大人向けの健康器具が設置されているのは二ヶ所のみである。他の公園にも増設する必要があると思うがどうか。

**市長** 健康器具は大人が利用する目的のもので、子どもが遊びに用いると危険な場合もあるので、慎重に対応していく。高齢者は、外に出て甲州弁ラジオ体操やウォーキング等で健康維持に努めていただきたい。



### マイナンバーの取り組みについて現在の準備状況は

市長 ▶ 臨時職員を任用し運用開始に向け取り組んでいく

公明党 金丸幸司 議員

**金丸** 郵便局から返戻された後の通知カードの対応は。

**市民部長** 配達時に不在等の通知カードは、週間、郵便局で保管後、市役所に返戻される。返戻された通知カードは、市内での転居や市外への転出を確認し、死亡、居住の事実等の調査も合わせて実施する。確認ができない場合は、一定期間、市役所で保管後、返還登録のうえ廃棄処理する。それ以後の通知カードの発行は、再発行扱いとなる。

**金丸** 個人情報保護について対策は。

**市長** 市民の皆さまが心配しているマイナンバー制度における個人情報の取り扱いについては、個人情報法は二元管理をせずに、従来どおり、年金の情報は年金事務所、国税の情報は税務署、地方公共団体の情報は公共団体というように、それぞれの機関が分散して管理を行い、他の機関の情報を必要とする場合には、その都度情報のやり取りを行うため、マイ

**市長** 市民の皆さまが心配しているマイナンバー制度における個人情報の取り扱いについては、個人情報法は二元管理をせずに、従来どおり、年金の情報は年金事務所、国税の情報は税務署、地方公共団体の情報は公共団体というように、それぞれの機関が分散して管理を行い、他の機関の情報を必要とする場合には、その都度情報のやり取りを行うため、マイ

ナンバーが第三者に知られても、そのマイナンバーにひも付くあらゆる情報が一度に漏えいすることはない。

**認知症高齢者等にやさしい地域づくりをどのように取り組んでいくのか**

**市長** 社会全体でケアするやさしい地域づくりに取り組む

**金丸** 具体的な取り組みは。

**市長** 今年度、認知症初期集中支援チーム員の研修や、認知症地域支援推進員の研修を、地域包括支援センターの職員が受講し、本市の実情に応じたきめ細かい認知症施策などを展開することとしている。



マイナンバーの通知カードと個人番号カード

### 中小商工業の営業を守るための甲斐市の施策は

市長 ▶ 耐震リフォーム補助、貸付制度の充実に努力する



日本共産党甲斐市議団 樋泉明広 議員

**樋泉** 中小企業は、日本経済の根幹であり、企業の99%、全労働者の67%を占めている雇用の担い手である。中小商工業の営業支援や地域経済の活性化につながる住宅・商店のリフォーム支援制度や貸付資金の資金融資の現状と課題は。

**市長** 市では、木造住宅耐震リフォームを実施し、商店は延べ床面積の2分1以上が住宅の店舗併用住宅は補助対象である。本制度を奨励していく。また、貸付資金については、業績悪化の業者には、県信用保証協会の「セーフティネット保証制度」や「甲斐市小規模企業者小口資金融資」で営業支援を行っている。「創業融資

制度」も商工会・金融機関と連携し、支援する。

**創甲斐教育の教職員配置と少人数学級の対策は**

**教育部長** 優れた教員の確保と資質の向上に努めている

**樋泉** 日本の教職員配置の水準は、経済協力開発機構諸国の平均より低い。国の財政制度審議会では、教員定数の削減計画を検討しているが、市の見解は。

**教育部長** 創甲斐教育では、児童生徒の学習環境充実のため、県教育委員会にも30人学級の拡大実施を要請し、創甲斐教育の一層の推進を図っている。

**樋泉** 市の教育予算は、どのような教育施策に重点を置いているのか。

**教育部長** 老朽化が進む学校施設を計画的に改修整備するとともに、市単独教員、学校教育支援員、スクー



出典：山梨県信用保証協会「信用保証ハンドブック」

ルサポートカウンセラー、外国語指導助手の配置など人的支援に重点に置いている。

### 選挙権年齢18歳以上にとの法改正に伴う児童教育は

教育長 ▶ 学校指導要領に基づき、主権者教育を充実させる



創政甲斐クラブ 齊藤芳夫 議員

**齊藤** 来年の参議院議員選挙から、投票年齢が18歳以上に引き下げられる。高校生の一部も投票できることとなり、早い段階からの教育が必要である。現在の小中学校での選挙に関する教育の現状と今後の指導は。

**教育部長** 小学校では、6年生の社会科で、国民主権と関連付けて、国民生活に政治が大切な働きをしていることを教え、選挙権を正しく行使するよう指導している。中学校では、公民の教科で、議会制民主主義の意義を考えさせ、多数決の原理や運用のあり方などについて、3年生に20時間指導している。選挙権年齢引き下げに伴い、より早い段階から、政治参加意識を高めていく教育が必要である。

**齊藤** 体験学習は意義ある教育であり、子供たちが市長室訪問や面談、議会傍聴なども教育の一つとして取り入れたらどうか。

**教育部長** 小中学生に、政治の働きを身近に捉えさせる方法として、有効とは考えるが、課題も多く、整理して今後研究していく。

**齊藤** 大学の女性教授が、地方議会の被選挙権も18歳に引き下げても良いのでは。との発言があったが、どのような見解か。

**市長** 全国で新たに約240万人の新有権者が加わる見込みである。未成年者の関心が高まり、政治に反映されることは、非常に意義深い。被選挙権については、若者世代が自分たちの問題として、しっかりと議論し、理解することが大切であり、機運が盛り上がった時に、初めて引き下げられるべきである。



中学校での選挙出前授業

### 地域活性化の特産品である赤坂とまとの収穫量は 市長 ▶ 平成26年度は13トンである



新政クラブ 金丸 寛 議員

**金丸** 地域活性化としての特産品のブランド化の一つでもある赤坂とまとの販売状況は。

**市長** (株)赤坂農場に確認したところ、平成26年度の売上金は1,043万3千円である。平成26年2月の大雪により収穫量が減少したが、平成27年度は、栽培管理方法の改良と経営の改善を図っている。

**金丸** 事業化に成功しているか。

**建設産業部長** 特産品として定着が図られている。雇用も正職員1名、パート10名による雇用が生まれている。

**金丸** 市への収入は。

**建設産業部長** 施設使用料については、栽培当初から経営が軌道に乗るまでは無償とすることで現在に至っている。今後使用料については協議を進めていく。

**金丸** 特産品としての「やはたいも」はどうか。

**建設産業部長** 作付可能面積は、釜無川左岸で砂



市の特産品「赤坂とまと」と「やはたいも」

質を多く含む土質である農地は、約70ヘクタールである。

**金丸** 作付可能地域である玉幡中学校北側への公園計画は。

**建設産業部長** (仮称)上八幡公園予定地は、全体面積1・7ヘクタールである。

**金丸** やはたいもの生産量はどのくらいか。

**建設産業部長** 1ヘクタール約17トンの収穫がある。

**金丸** 連作障害のある作物なので可能な限り作付面積の確保をお願いしたい。

**建設産業部長** 作付面積が増えれば、収穫量および販売量も増える。作付面積の維持、拡大を図れるよう、市としても農協と連携をして産地の後押しをしていく。

### 博物館または資料館など総合施設の計画は 市長 ▶ 公共施設等総合管理計画と併せて検討する



創政甲斐クラブ 五味武彦 議員

**五味** 第二次総合計画案で民俗文化財の施設整備を行うとしているが、博物館または資料館など総合施設の方向性は。

**市長** 新たな博物館の建設予定はないが、今年度から策定の公共施設等総合管理計画と併せて検討していく。

**五味** 信玄堤の勤労青少年ホームを資料館等に利用出来ないか。

**建設産業部長** 補助金等適正化法に対応し、研究する。

**五味** 市全体の統一した歴史関係の教材、DVDなどの製作計画があるか。

**教育部長** 必要性があり、今後検討する。

**五味** 歴史案内人などボランティアの必要性は。

**教育部長** 関係部署、団体と連携、協議の上、様々な視点から研究する。

**五味** 竜王駅南口の山県大式像をもっとPRすべきと思うが。

**教育部長** 今後も山県大式に関連する歴史遺産を掘り起こし、同時にイベントなど計画策定中の際に大式像の有効活用を図りたい。

**五味** 文化財の現状と今後についてはどうか。

**教育長** 島上条地内で古墳の石室や副葬品が出土した。今後も文化財保護に努め、展示可能なものは、随時一般公開する。

**五味** 双葉地区の豪商邸の文化財指定は。

**教育部長** 江戸時代後期から明治初期の建物群で、県内唯一の規模を誇るもの。最善の方策を検討する。

**五味** 大村智さんがノーベル賞を受賞、韮崎市では名誉市民の称号を贈ったが、本市で表彰規定があるか。

**市長** 甲斐市表彰規定があるが、特別な荣誉の市民には特別な賞が必要。他自治体の対応を調査検討する。



大庭古墳の石室(島上条地内)

## 議会の傍聴にお越しく下さい!!

市議会では、年4回(3月、6月、9月、12月)定例会を開催しており、本会議は誰でも傍聴することができます。また、委員会も傍聴することができます。自分の選んだ議員がどのような活動をしているのか目の前で見ることができますので、ぜひ、議場、委員会室にお越しのうえ、ご覧ください。

### 傍聴の手続きは簡単です!

傍聴を希望される方は、議会だより、議会ホームページ、議会事務局にご確認のうえお越しください。

- 会場** 竜王庁舎本館4階、本会議は議場・委員会は委員会室A
- 傍聴席の定員** 本会議は51人、委員会は10人
- 傍聴の手続き** 本会議、委員会の当日に市役所本館4階の議場入口の受付にて、受付簿に必要事項を記入してください。

※手話通訳を希望される場合は、事前に福祉課(☎055-278-1691 FAX055-276-2113)へお申込みください。

### 定例会の傍聴者数

年	人数
平成24年	138人
平成25年	236人
平成26年	205人
平成27年	172人



本会議当日は、議場に來られない方のために、議会ホームページでの放映や、竜王庁舎新館、敷島庁舎および双葉庁舎の1階でモニター放映しています。また、本会議の概ね1週間後に、本会議の様子を議会ホームページで映像配信しますので、ご覧ください。

議会事務局 ☎055-278-1673 議会ホームページ <http://kai-shigikai.jp/> 甲斐市議会 検索

### 国会決議に反するTPP協定から撤退し、調印の中止を

市長 ▶ 十分な論議と説明で、国民的合意を期するべき



日本共産党甲斐市議団 松井 豊 議員

**松井** 総選挙では「ウンをつかない。TPP断固反対」と公約し、国会決議では「メや牛肉など重要5品目を交渉から除外し、段階的関税撤廃も認めない。」としたのに、公約・決議を投げ捨て、米国に追随・譲歩したのが今回の「TPP大筋合意」である。TPPは農業破壊だけでなく、医療・保険・食品安全・知的財産権など国民の暮らしに重大な影響を及ぼす。協定書作成作業から撤退し、調印の中止を要請すべき。

**市長** TPPの巨大市場は我が国経済と地方再生に直結すると考える。その影響に対する国民の不安を払拭するため、十分な議論と説明・情報発信によって

**松井** 主任児童委員の増員が必要ではないか。

**市長** 市内の小学校区に各一人配置できるよう、県に増員を要望している。

**松井** 総選挙では「国民的合意を期するべき。木質バイオマス発電の採算性は」

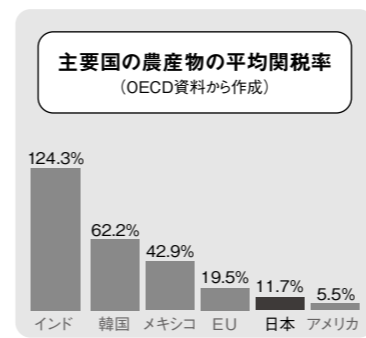
**市長** 官民連携で運営を考えている

**松井** 総熱量の2割程度と言われる発電のエネルギー効率と温水の利用率はどの程度になるのか。

**市長** 木質系のエネルギー効率は2割程度であり、残りの8割は排熱になると見られるので、この排熱を温水に換え、温水を公共施設や農業振興に活用する熱供給プロジェクトを実現することにより、エネルギー効率を8割近くまで高めたい。

**低所得・ひとり親家庭への支援は**

**市長** 給食費・放課後児童クラブの利用料は一定の免除措置を講じている





# 市民と議会の対話集会

## 《第10回 吉沢地区》

10月24日  
吉沢ふれあい館

出席者  
・24人  
・担当議員11人



吉沢地区の様子

### 政務活動費で予算額を超えた場合は

#### 超過分は、議員の自己負担となる

- Q.防災無線が聞きにくい。  
A.この地域に限らず同様な要望があるので、担当課に地域の実情を伝える。
- Q.マイナンバーの被害が出ているため、被害が出ないように。  
A.説明会で不審な点は確認し、不審なことがあった場合は、市に届出をして欲しい。また、防災無線での注意喚起も市へ要望する。
- Q.鳥獣被害が多いので、対策の補助金、助成金を検討して欲しい。  
A.予算措置時に市へ伝える。また甲府市のエリアとなる場所もあるので甲府市へも要望を出したい。
- Q.75歳以上の高齢者が多い。第1次介護予防の特徴は。  
A.いきいきサロンを増設するとともに、来年4月から介護ボランティアポイント制度を開設する予定である。
- Q.茅ヶ岳東部広域農道の早期開通を。  
A.亀沢大橋は完成しているが、その先の用地交渉が残っているため、県で開通をストップしている。用地問題の解決は県へ要望する。
- Q.北部3地区の公民館に雨量計を設置して欲しい。  
A.必要があるため市へ要望していく。

- Q.御領堰が漏水しているので対応を。  
A.全体の現場確認や、緊急性の判断が必要となるため、部分改修ではなく全面改修として、区長を通じて要望をしてもらいたい。
- Q.支所の統廃合を聞いたが、地域の拠点であるので現状維持して欲しい。  
A.市では、支所の統廃合や廃止は考えていない。
- Q.山林で松くい虫の被害が大きいので早急に対応を。  
A.松くい虫の繁殖が早く、薬で対応しているが追いつかず、苦慮している。県道沿いで倒木の恐れのある木の処理は県に要望していく。
- Q.隣接地(甲府市)で大量のゴミの投棄があるので対応を。  
A.環境課の対応を含め早急に調査をして、しかるべき対応をする。



吉沢地区の様子

市議会では、開かれた議会への取り組みとして、もっと市民に身近な議会にしていくため、地域に飛び出し、今年度で4年目となる『市民と議会の対話集会』を開催しました。

## 《第9回 竜王地区》

10月6日  
玉川西区公会堂

出席者  
・32人  
・担当議員14人



竜王地区の様子

### 議会のデジタル化とは

#### タブレット端末による議会資料のペーパーレス化を検討中

- Q.休日、夜間議会の開催は。  
A.まだ具体化していない。市への働きかけも必要となる。
- Q.竜王布施線(玉幡小学校から市役所まで)の歩道をフラットにして欲しい。  
A.県道のため、県の整備計画を確認して、市を通して要望していく。
- Q.竜王中学校の南東側の交差点の整備状況は。  
A.平成27年度に設計、右折レーンなどの工事を行い、平成31年度には完成予定となっている。
- Q.第2次甲斐市総合計画の進捗状況は。  
A.庁内で策定中であり、議員も要望を出している。取りまとめ皆さんに公表する。
- Q.学校へエアコンを設置して欲しいと保護者から要望があるがどうか。  
A.議員も代表質問や一般質問を行っており、市では、費用などの財政問題や気候の変動に対応できる子どもの体力づくりのため、現時点では設置しない方針である。
- Q.子ども医療費が中学生まで無料となるのか。  
A.平成28年1月から中学生まで医療費が無料となるが、中学生は窓口無料ではなく償還払いとなる。

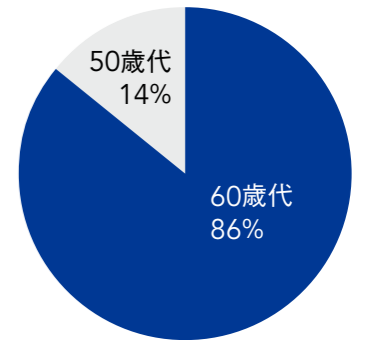
- Q.学校の非行問題に対する議会の対応は。  
A.市では、スクールサポートカウンセラーを配置して指導をしている。議員も学校やPTA、地域の会議に参加して意見交換をしていく必要がある。
- Q.積雪時における道路の除雪の対応が遅いのでは。  
A.建設業協会と協定を結び対応している。除雪した雪の寄せ場、捨て場の確保が難しく、遅くなる箇所がある。
- Q.かい遊パークの健康遊具やグラウンドゴルフコースの設置や、犬の散歩や自転車乗り入れ禁止の対応策は。  
A.グラウンドゴルフについては、コースの常設は難しいが、受付順に開放している。健康遊具や利用のマナーについては、市へ要望していく。
- Q.犯罪の抑止につながる青色LED防犯灯と防犯カメラの取り組み状況は。  
A.青色防犯灯は竜王駅周辺に設置している。防犯カメラは学校や駅に設置している。

# 「市民と議会の対話集会」アンケートを実施しました

対話集会の各会場(10/6 竜王地区、10/24 吉沢地区)において、アンケート調査を行いました。この調査結果は、今後さらなる議会改革を進める上での貴重な基礎資料として活用させていただきます。なお、詳細な報告書については、市議会ホームページへも掲載してありますので、ぜひご覧ください。

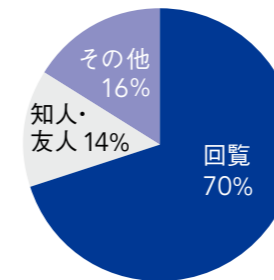
## 回答者の性別・年代

参加者56人(男性54人、女性2人)のうち、42人(男性のみ)の方から回答をいただきました。年代については、50歳代6人、60歳代以上36人、40歳代以下の参加者は0人でした。今回は、女性や若者の参加が少なかったため、周知方法や内容など検討していきます。



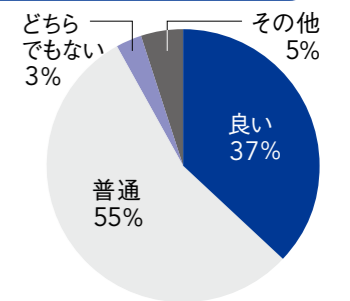
## 対話集会の開催を何で知ったのか

今回は、各地区で開催し、対象地区にチラシを回覧したため、「回覧」が7割を占めました。その他の意見として、「区長会、区内放送」などの意見がありました。



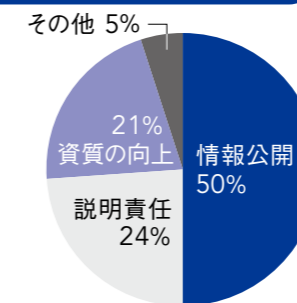
## テーマ・内容について

今回のテーマ「地域活性化」の内容については、「良い、普通」が9割を占めました。その他の意見として、「ポイントをしぼるべき」との意見がありました。



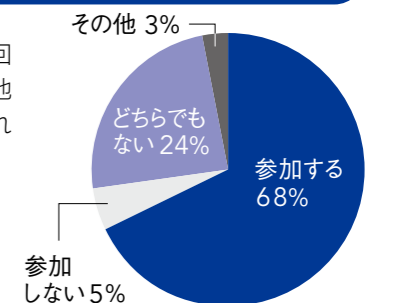
## 議会・議員に求めることは

今後の議会・議員に求める事柄に関しては、「情報公開」が半数を占め、「説明責任」、「資質の向上」と続きました。その他として、「対話集会を続けて欲しい」との意見がありました。



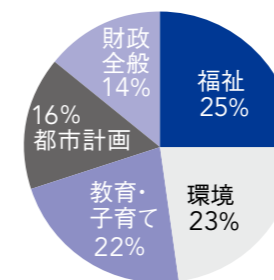
## 今後も対話集会に参加するか

参加するという方が、前回と同じく約7割となり、その他の意見として、「機会があれば」との意見がありました。



## 今後取り上げて欲しいテーマは

すべての項目に関心がある中、前回同様に「福祉」に関する項目が多い結果となっています。



## 自由意見の一部を紹介します

- 議会が市民目線で要望を取り入れようという意識は十分感じた。
- 議員と向かい合って近い距離で対話できて有意義だった。
- まちづくりを目的に、それに向けたアプローチ方法、目指すものを知ることができた。
- これから市が向かうべき方向性、テーマ、まちづくり、深掘りしていくと新しいアイデアが生み出されてくると期待できた。
- 今回の提案、要望をぜひ行政に活かして欲しい。

# 意見交換会

## 棚田があることで、その地域が自然豊かで素晴らしい人たちがいることが想像できる。

### 敷島棚田等農耕文化保存協会代表者 & 建設経済常任委員

平成27年11月2日

「敷島棚田等農耕文化保存協会の現状と今後の取組み等について」をテーマに、敷島棚田等農耕文化保存協会代表者6名と意見交換を行いました。棚田を守り抜く意気込みを語ってくださいました。



## 棚田保存協会の発足は?

平成9年5月に有志が集まり発足した。当時は7割が荒地であった。平成11年に敷島棚田景観保存研究会となり、平成15年にNPO法人となった。農耕文化の原点とも言える棚田を初めとした農耕景観並びに農業文化遺産の再生、保存、活用を行い、崩壊する農山村の再生と発展、地域社会への貢献日本の農耕文化の古きよき時代の象徴を後世へ伝承していくことを目的に活動している。

## 活動状況は?

都市住民との交流として、都内の企業と田植え、草取り、稲刈りの体験を行っている。昨年6月には田んぼのあぜ道に瓶を入れたろうそく300個程度を用意して夕暮れから1時間点灯する「ろうそくまつり」を行い、幻想的な風景に感動した。棚田米(御領米)のブランド化にも取り組んでいる。平成25年には、景観形成事業の優秀団体として、美しい県土づくり大賞を受賞した。

## 活動の維持・発展は?

周辺の協力もあり徐々に棚田を広げているが、大きな樹木の伐採は手に負えない。また、棚田を知らない人も多いので、看板や広報紙などでPRして欲しい。これまで体験型で都市住民との交流を行っていたが、オーナー制度も導入したい。そのため、ゆづのう敷島やクラインガルテンと連携も考えていきたい。さらに、市内の小学校でも田植え体験として棚田を利用して、棚田の素晴らしさを実感してもらいたい。

## 意見交換会を終えて

敷島棚田等農耕文化保存協会の皆さんが、地域にある文化景観を残すため立ち上げてくれたことを素晴らしいと感じています。今回出された意見や要望を踏まえ、棚田の景観、事業のPRについて、市へ申し入れを行いました。本市の農業振興、観光振興はもとより、地域全体の活性化に向けた取り組みを行っている組織であるため、更なる支援ができるよう取り組んでまいります。

建設経済常任委員長 赤澤厚

# 見 会 意 換

民生委員児童委員  
協議会・主任児童委員

厚生環境常任委員

&

平成27年11月4日

「児童福祉と貧困問題」をテーマに、民生委員児童委員協議会各地区会長3名及び主任児童委員7名と意見交換を行いました。  
日頃の活動に対する切実な思いを語ってくださいました。

福祉は福祉、教育は教育の縦割り行政から  
横のつながりが持てる組織づくりを。



児童福祉の  
現状は？

規制緩和等により、就労者の3分の1が非正規雇用であり、収入源が厳しく、世帯も核家族が多い。子ども6人に1人が貧困と言われ、親の貧困が子に繋がっている。また、児童母子福祉について、県の調査では、平成27年度8296世帯であり、調査開始以来最多となった。離婚件数の増加が要因であり、母子世帯の年間収入で300万円未満が7割を超えている。正規雇用に向けて就労支援や生活支援の充実が課題である。

主任児童委員の  
役割は？

相談が必要な家庭があると  
きは、学校や児童館などから連絡を受け、地区の民生委員児童委員にその家庭の様子を確認するとともに、必要な場合は、同行をお願いして家庭訪問をしている。  
主任児童委員は、学校と民生委員を結び、行政などの関係機関との間にあって仲立ちをするのが大きな役目である。家庭状況は複雑多岐に渡り、指導する立場や権限はないが、注意深く見守りをしている。

活動に対する  
要望は？

現在、家庭相談員が母子自立支援員を兼務しているが、専任の母子自立支援員を設置して、相談体制の更なる充実が必要である。  
次に、福祉は福祉、教育は教育で縦割りでは話ができているが、横のつながりが持てる組織づくりが必要である。また、小中学校や保育園などからの情報提供のスムーズな連携強化が必要である。さらに、主任児童委員人数が、県内の人口割からして少ないので、増やして欲しい。

意見交換会を  
終えて

主任児童委員の活動の苦勞や対応の難しさを痛感いたしました。  
今回出された意見や要望を踏まえ、専任の母子自立支援員の設置、関係部署との連携強化、主任児童委員の増員について、市へ申し入れを行いました。  
深刻化する貧困問題は、親から子、子から孫へと世代間連鎖が問題となっており、即時の解決が望ましいが、引き続き取り組んでまいります。  
厚生環境常任委員長 小澤重則

# 見 会 意 換

図書館協議会

&

総務教育常任委員

平成27年11月5日

来館者を多くするだけでなく、  
本を介して生活を豊かにする運営をしている。

図書館の  
活動状況は？

市民の暮らしに役立つサービス、幼児・児童・青少年へのサービス、文化活動の場を提供するサービス、視聴覚資料・外国語資料を提供するサービス、障がい者や高齢者の方へのサービスを基本方針に、①図書館資料の充実、②図書館利用者サービスの充実、③文化活動の場の提供、④学校図書館との連携、⑤甲斐市子ども読書活動推進計画の取り組みの5点を柱に創甲斐教育の推進に取り組んでいる。

図書館の魅力は？

小さいときから、本に触れて、様々な価値感を見出し、いくことが図書館ではないかと思っている。インターネットの時代となり、自分の欲しい情報は簡単に手に入るが、その周りには背景や様々な方の意見、なぜそのように導かれたのかまでは見えてこない。図書館には幅広く資料がそろっているの  
で、市民を助けてくれる。また、図書館に行けば自分の好きなものに会えるかもしれないという出会いがある。

学校における  
取り組みは？

図書館を利用したり、本を読む生活習慣により、人格をつくり、想像力が発展して、他のものにも興味を持ち、本を読むという受動的なものから、能動的なものに発展していく。知識的にも人格的にも、生活的にも豊かにしていく。学校では、春にはあじさい読書、秋にはくりのみ読書の読書週間を設け、夏休みも図書館を開放し、子どもたちの読書の機会を多くして、本を多く借りた子には手づくりの記念品を渡している。

意見交換会を  
終えて

今回は、「図書館運営について」をテーマに、現状や課題等、様々な意見をいただきました。子どもたちが、本に親しむための学校での取り組みや、ボランティアによる子ども向け、大人向けのイベントの開催など、多岐に渡る活動を確認することができました。  
今後、より多くの市民が本に親しみ、図書館を活用できるように取り組んでまいります。  
総務教育常任委員長 三浦進吾



# 人口ビジョン及び総合戦略を全員協議会で検討

全員協議会では、10月15日、11月16日に甲斐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略の検討、協議を行いました。

## 人口ビジョン〔2015(H27)－2060(H72)〕

本市における人口の現状分析を行い、人口に関する市民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すもので、推計期間を45年後の2060年(平成72年)としている。

2015年(平成27年)国勢調査速報値の本市の人口は、74,417人であり、本市の将来人口の展望として、2060年(平成72年)に約64,000人を維持することを目指す。

## 総合戦略〔2015(H27)－2019(H31)〕

人口減少と地域経済縮小の克服を目指し、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立をめざす内容となっている。

地方創生では「ひと」がまず中心にあり、その「ひと」が「しごと」をつくり、「まち」をつくる流れを確かなものにしていく必要があるとされている。

本市の実情に応じ、平成27年～31年度の5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもので、第2次甲斐市総合計画と整合性を保ち、人口減少対策に焦点をおいた重点的な取り組みという位置付けで策定している。

基本方針は、自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視の5つ政策原則を踏まえて策定する。

また、4つの基本目標を柱に推進していく。

基本目標	数値目標(目標年度はH31年度)
<b>基本目標1</b> 安定した雇用を創出する産業振興	従業者数 21,674人(H24年度)→21,800人
<b>基本目標2</b> 都市と自然の魅力を活かした定住促進	20歳～24歳社会増減 △695人(H27年度)→△481人 市民の定住意向(ずっと住みたい割合) 62.0%(H27年度)→70.0%
<b>基本目標3</b> 次世代育成のための包括的な支援	合計特殊出生率 1.55人(H26年度)→1.67人
<b>基本目標4</b> 人がつながり活力を生み出すまちづくり	自治会(区)加入率 82.0%(H26年度)→85.0% 消防団の団員数の維持 608人(H26年度)→620人

## 主な質疑

Q.基本目標1に新たな企業誘致も必要ではないか。

A.重点的な取組みに、「企業誘致に伴う工事用地等情報提供事業」、「創業者の支援」を追加した。

Q.基本目標4に「交流と協働による活力あるまちづくり」とあるが、交流が具体的に何を指すのか理解できない。分かりやすい表現がよいのではないか。

A.「人がつながり活力を生み出すまちづくり」に変更する。

Q.基本目標4の重点的な取組みに「チャレンジデーの実施」とあるが、市独自の事業ではないため重点的な取組みに入れているのはどうか。

A.個別の事業名を明記するのではなく、総称とした表記とするため、「スポーツイベントの実施」に変更する。

Q.基本目標4の多様な教育ニーズに応じた教育の充実で、親の経済状況により子どもの学習機会に差がつかないような取組みを推進し、とあるが重点的な取組みに入れるべきではないか。

A.戦略的な取組みとして、甲斐っ子応援教室を掲げており、応援教室が受け皿として機能し、学力保障にもつながる。

Q.目標に対し重点的な取組み内容が現状維持のようであるが検証して目標設定したのか。

A.総合計画の施策の事業をはじめ、戦略的に取組み、人口減少対策に取り組むため、新たに掲げる施策とこれまでの施策、重点的な取組みとして設定して行っていく。

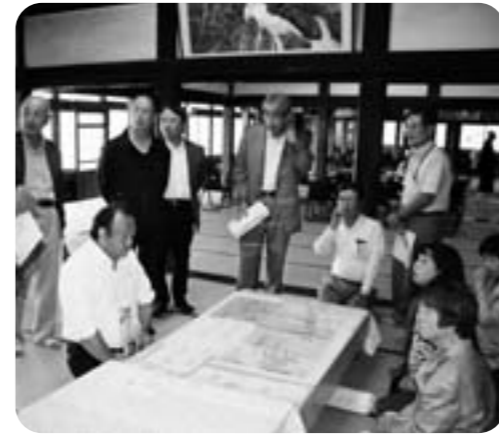
Q.総合戦略推進委員は25人の大規模であり細部までの意見集約が難しいため、専門部会や目標ごとの分科会形式で意見集約したらどうか。

A.縦割りや重複を排除し、多方面の施策を一体的に立案・推進することからも、国が示す「産学官金労言」に加え市民で構成している組織で、検討及び集約しており、現時点で不都合は生じていない。

# 文化財を後世に!!

市内の現状をより理解するため、市内指定文化財研修を行いました。3日間かけ、市内20か所を巡り、文化財の重要性を再確認しました。

1日目:10月9日、2日目:11月17日、3日目:11月25日



戦国時代から江戸初期にかけての古文書(慈照寺)

10月9日研修第一日目。赤坂台展望塔から見る甲斐市は、北に中山間地、南に平坦地が広がる変化に富んだ土地であることが一望されました。信玄堤左岸に点在する、三社神社、慈照寺等、今に残る文化遺産をみながら、先人達の足跡に思いを馳せ、後世に語り継ぐことの大切さを感じた視察でした。

文化財研修一日目、竜王地区の八カ所を巡りました。赤坂台総合公園の展望塔から見ると、甲斐市の地形形成の歴史を百万年前に遡り、細かく大変分りやすい説明してくださる講師のお話を伺い、改めて長い歴史の中で私たちの故郷の今があることを感じました。市民の皆さまにも是非甲斐の素晴らしい歴史を学んでいただきたいと思います。

滝川美幸 議員

1日目 赤坂台展望塔↓信玄堤↓三社神社↓慈照寺↓神明神社↓山県神社↓袴腰天神↓西八幡の力

金丸寛 議員

3日間全部参加しました。私も議員になったばかりの時、道路整備などで出土された貴重な文化遺産を、どうにかしたいと当時の担当課長と何度も話をしたことを、改めて思い出し、企画していただいた新人議員の皆さまの行動力に感謝したい。

今回の研修の目的は、甲斐市を知ることでしたが、特に先人達が水害等災害を受ける度に生命がけでこの地を守り抜いてきた史実を伺い感動しました。政治の役割は、まず住民の皆さまの生命、生活を守り、安心安全のまちにすることです。これからの議員活動にこうした視点を持ち災害史から学んでまいります。

保坂芳子 副議長

赤坂の往生塚↓網蔵家↓金桜神社石鳥居↓常説寺↓羅漢寺

齊藤芳夫 議員



国指定の重要文化財の白輿(常説寺)

2日目 滝坂の往生塚↓網蔵家↓金桜神社石鳥居↓常説寺↓羅漢寺



江戸時代に建てられた市内最大規模の山門(天澤寺)

3日目 光昭寺薬師堂↓妙善寺↓船形神社石鳥居↓お船石古墳↓松尾神社本殿↓天澤寺↓赤坂供養塔

市内に数多くある指定文化財のうち、国指定の光昭寺薬師堂など、現地に行き直接見て、聴いて、文化財の歴史を学ぶことができました。文化財は、先人達が築いてきた歴史であり、文化財を通して文化の理解を深めることができる重要なものであるため、次の世代へ引き継いでいく責任を改めて感じました。

新人議員が企画した今回の研修には、多数の先輩議員も参加していただいた。三回に亘った研修で、市内には次世代に継承すべき貴重な文化遺産が、身近に数多く存在していることを肌で感じました。今後は、市当局に文化財の調査・研究や、保存対策、歴史教育、公開のための博物館または資料館などの施設整備を進める必要性を訴えたい。

五味武彦 議員

赤澤厚 議員

# 都内のマルシェを視察

総務教育常任委員会では、11月14日(土)に都内で開催されたマルシェ(フランス語で市場)とやまなし暮らし支援センターの視察を行いました。

当日は、有泉議長、保坂副議長、総務教育常任委員会委員5人が出席しました。

ヒルズマルシェでは、東京都港区赤坂にあるアークヒルズカラヤン広場において、来場者への移住相談、甲斐市観光パンフレット、空き家バンクパンフレット等の配布、マルシェ及びキッチンカーによる甲斐市特産物の販売の視察を行いました。

当日は、やはたいぬも登場し甲斐市のPRを行いました。ヒルズマルシェの来場者は、約8,000人。甲斐市ブースには約1,000人が来場して賑わいを見せていました。

やまなし暮らし支援センターでは、センター状況や相談内容などの視察を行いました。



▲マルシェ視察の様子

やはたいぬも  
甲斐市をPR

## 議会だよりの表紙写真を募集しています!



あなたの撮った  
カラー写真で  
表紙を飾って  
みませんか。

締め切り 送付先

平成 28年 3月 28日(月)  
到着分まで

〒400-0192  
甲斐市篠原2610番地  
甲斐市議会事務局 庶務・議事係  
Email kai-gikai@city.kai.lg.jp

## 議会を傍聴してみませんか!

平成28年 第1回定例会の日程(予定)

※日程等に変更がある場合もあります。

月	日(曜日)	時間	内容
2	26(金)	午前 10時~	本会議(初日)
	29(月)	午前 9時30分~ 午後 1時30分~	厚生環境常任委員会 建設経済常任委員会
3	1(火)	午前 9時30分~	総務教育常任委員会
	3(木)	午前 10時~	本会議(条例ほか採決、代表質問)
	4(金)	午前 10時~	本会議(代表質問-一般質問)
	7(月)	午前 10時~	本会議(一般質問)
	8(火)	午前 10時~	本会議(一般質問)
	9(水)	午前 9時30分~	予算審査特別委員会
	11(金)		
	14(月)		
15(火)			
16(水)	午後 3時~	本会議(当初予算ほか採決)	
18(金)			

※お気軽にお越しください。(議場傍聴席定員51人)  
◆本会議の中継をインターネットで配信しています。なお、録画中継についても配信していますので、ぜひご覧ください。  
※傍聴に際し手話通訳が必要な方は、福祉課へお申し込みください。(電話055-278-1691 FAX055-276-2113)

## 詳しくは

市議会ホームページまたは議会事務局  
までお問い合わせください。

TEL (055) 278-1673

ホームページアドレス  
<http://www.kai-shigikai.jp/>

甲斐市議会 検索

甲斐市議会でご検索してください

## 編集後記

私たち議員で作る「議会だよりの」が、市民の皆さまに愛され、読んでいただけたら、委員みなさんで協議を重ねています。毎年行っています「市民と議会の対話集会」では、市民の方々の様々な意見や要望などを聞かせていただき、今後の議員活動に活かして参ります。しかし、私を感じたことは、今回の対話集会に女性の方の参加が少なかつたことです。市では「男女が共に支えあう生活快適都市をめざして」の総合目標を掲げており、今後の甲斐市の地域や社会、家庭、職場など、あらゆる分野を進めていくうえで、女性の参加は重要と考えます。今後とも、市民と議会の対話集会を重ね、議会として取り組んで参ります。(金丸幸司 記)

## 平成28年度

# 当初予算への要望

決算審査特別委員会では、昨年度に引き続き、決算審査等で出された意見を踏まえ、7事業について新年度予算に反映されるよう市へ要望しました。



市長へ要望書を手渡す清水委員長(10月20日)

### 1 公共施設の土地の賃借料等について

毎年土地の賃借料等を計上している公共施設においては、契約期限もあるが、このまま支払いをしていくと莫大な支出となる。

特に、竜王庁舎職員駐車場、竜王西小学校用地、竜王中学校テニスコート用地及び竜王南部公民館駐車場用地については、順次買取り等を踏まえ、今後の方向性を検討し、予算の削減に努めること。

### 2 玉幡公園総合屋内プール運営費について

この施設の指定管理者の年間支出額は、約8千700万円であり、市では、指定管理料の4千250万円を含めて、年間で約5千690万円の多額な一般財源を支出している。

行財政改革を推進しているが、このような多額の維持管理経費を必要とする施設については、大きな見直しを図ること。

### 3 竜王庁舎維持管理事業について

災害時には、竜王庁舎が防災の情報等の拠点となる。竜王庁舎の予備発電設備については、本館は庁舎の裏の建物にあり、新館は地下に設置してある。

昨今の豪雨などにより竜王庁舎の浸水も考えられることから、予備発電設備の設置場所を見直す必要がある。



竜王庁舎(本館・新館)

### 4 将来のごみ処理に関する研究、検討費用について

本市のごみ処理については、中巨摩地区広域事務組合、峡北広域行政事務組合の2広域事務組合で行っている。将来の一本化も踏まえ、検討委員会などを行政内に立ち上げ、各部署が横断的、実効的に研究、検討をするための予算付けをすること。

### 5 社会福祉協議会職員人件費補助金について

社会福祉協議会は、福祉や高齢者などの業務を担う部分が大きく、事業も拡大している。安定的に運営していくためには、社協職員の定着性や待遇面を考慮するなど、人材確保が必要であることから、人件費の増額を検討すること。

### 6 下水道事業について

下水道の整備は、全体計画面積1,776haで進められているが、平成26年度末での整備率は、66.9%となっている。市発足当時から年々事業量が減少しているが、快適な住環境のためには下水道は欠くことができないものであるため、整備面積の拡大が図られるよう予算措置に努めること。

### 7 イベント事業について

市全体の各種イベントの検証及び検討を行い、多大な事業予算のコスト削減も含め、費用対効果のない事業の見直しを検討すること。

# 市民の声



## 高齢者が生活しやすい町

田邊 今朝平  
〔篠原(古村)〕

近年、時代の変化に伴い、より住み慣れた周辺景観も大分変わってきました。私たちが四十余年前にご当地甲斐市(旧竜王町)に居住してきました。

当時周囲は、古村区一組として10戸位の世帯でありましたが、今は戸数も増え25戸の大世帯となりました。

当時は、夏は田んぼのカエルの合唱を聴き、また冬は強い北風で過ごしてきましたが、今は周囲に家屋も増え環境も変わってきました。

私も高齢者の仲間入りで、毎日朝食を済ませ体力を維持する目的で40分～50分位ウォーキングに励んでいます。ところで、最近目に付く景観が年々変わり、あちこちの田や農地に、太陽光発電施設が増設されていますが、何処を見ても看板の設置がなく、施設の所有者名・危険の有無、雑草の管理など、連絡先の明記がないのに気が付きますが、いかがなものでしょうか。台風や大雨の時期や、最近各地に竜巻等の被害も発生しており、こんな時どこへどう連絡するか心配です。

現行の太陽光発電設置では、別に法律、規則は必要ないのでしょうか。国・県が定めていない中で、独自のルールを定めることなどを考え、どうか市民が安心して暮らせるような行政に反映されますようお願いしたいと思います。



## 議会傍聴記

有泉 弘  
〔竜王三区〕

12月11日の市定例議会は、一般質問に答える形で、市長が市政継続の意思を示したものになりました。

これまで市長と市議会が積み上げてきた実績を再認識でき、国勢調査で74,000人を超すと思われる人口のまちの、現時点における今後の指針を伺えたことは、大変興味深く、有意義なものでした。

ただ質問でも触れていましたが、真摯な議論を重ねて決めたであろう施策の一つ、障がい児医療費窓口無料化の制度について、県会議員との意見のソゴを生じた問題を確認したかったのですが、また違う形で伺えるものだと思います。

甲斐市議会は、ネット配信されていますが、ライブと録画公開との間に一週間のタイムラグがあります。要望としてですが、録画公開の時には一言一句でなくても、テロップ等で発言内容が紹介できないでしょうか。

政治用語は難解なものも多く、一回の聞き取りでは理解しにくい所もあります。聴覚に障がいを持つ方だけでなく、選挙法改正による18歳以上選挙権に鑑みても、若年層も含めた理解度が増すのではないのでしょうか。公式記録ではなく、「議会だより」があることも承知はしておりますが、一考をお願いしたいと思います。

\*\*\*引越しのお手伝い致します\*\*\*

### 不要品はございませんか？

家電製品、自転車、バイク、金属全般まで  
買取致します

## リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地88-1 (年中無休)

☎0551-28-6262

出張回収にも伺います! お気軽にお電話ください。

有  
料  
広  
告

## 農業体験による障がい者の社会参加をめざして NPO法人甲斐志麻の里ファーム

就労移行支援事業所  
就労継続支援B型事業所

利用者募集中!



ブドウ(デラ・ピオーネ・甲斐路他)・小梅・枯露柿・原木しいたけ  
ニンニク栽培と販売・古紙回収・トイレットペーパー販売など...



住 所 甲斐市島上条1277-1  
電話・fax 055-288-1241  
携 帯 090-2623-6309

### 議会広報常任委員会

委員長	松井 豊	委員	五味 武彦
副委員長	金丸 幸司	委員	小澤 重則
委員	滝川 美幸	委員	斉藤 芳夫

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)  
HPアドレス <http://www.kai-shigikai.jp/>